

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成20年7月15日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1072400235
法人名	有限会社 ころ
事業所名	グループホーム ころ
所在地	群馬県甘楽郡甘楽町大字白倉557 (電話) 0274-74-4300

評価機関名	サービス評価センターはあとらんど
所在地	群馬県前橋市大友町2-29-5
訪問調査日	平成20年 7月 7日

## 【情報提供票より】(20年6月14日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 14年 9月 1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9人
職員数	12人 常勤 7人, 非常勤 5人, 常勤換算 7.6人

### (2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	階 ~ 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有( 円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) 無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	250 円
	夕食	250 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要 (6月14日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	2名	要介護2	1名		
要介護3	2名	要介護4	4名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 79歳	最低	56歳	最高	89歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	公立富岡総合病院、こがはらクリニック、公立七日市病院、安藤医院、上条歯科
---------	--------------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

管理者、職員一同は連携を密にし、日々のケアの気づきを話し合いながら、ケアサービスの質の向上に向けて前向きに取り組んでいる。外気浴を重視し、散歩やウッドデッキでボール投げ、歌を唄う等、楽しみながら外気に触れる機会を多くしている。生活上の利用者の得意分野で力量を發揮してもらい、買い物、敷地内の歩行訓練コースを歩く、食事前に口腔リハビリ等、職員と共に行ないながら身体機能維持に努めている。家庭的な雰囲気の中で利用者一人ひとりのペースを大切に、ゆったりと毎日が過ごせるような支援に取り組んでいる。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価の意義や目的は全職員には伝えているが、自己評価は職員と共に取り組んでいない。市町村との連携は毎月、状況報告等で窓口を訪問し、意見交換等行い連携を図っている。家族への報告は家族等の来訪時に報告と請求書と一緒に一人ひとりに暮らしぶりを一言添え、写真等と同封している。入浴支援では時間の幅を設け希望やタイミングに合わせて支援をするよう取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>サービス評価の意義や目的は全職員に伝えているが、自己評価は管理者と事務長で作成した。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>定期的開催しており事業所から利用者状況、行事等の報告を行い、参加者から意見や要望を聴くようにしている。介護保険の手続きや窓口等の質問にも応えている。町の担当者は開催日、曜日等が合わず初回のみ参加である。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族に運営推進会議に参加してもらい意見や要望を聴いたり、家族等の来訪時何でも話しやすい雰囲気作りに留意している。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>運営推進会議の参加や散歩時やウッドデッキでの外気浴等で挨拶を交わす、野菜が届く、徘徊者に対する協力が得られている、地域の祭り、小学校の運動会、中学生の職場体験等で地域との交流を図っている。</p>

## 2. 調査報告書

(   部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	今までの理念に加えて、地域密着型サービスとしての見直しをしている。「家庭的な環境と地域住民との交流の下……」と地域との関係性を加え、事業所独自の理念を作りあげている。	<input type="checkbox"/>	
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は申し送りや会議等でも理念に触れるようにしており、また、日々のかかわりの中で気づいた時には話し合いを行い、共有を図るようにしている。	<input type="checkbox"/>	
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩時や外気浴等で挨拶を交わす、野菜が届く、徘徊者に対する協力をしてくれる、地域の祭り、文化祭、小学校の運動会、中学生職場体験等、地域との交流をしている。	<input type="checkbox"/>	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的は職員に伝えているが、今回は管理者と事務長が自己評価の作成に取り組んだ。	○	評価の一連の過程を職員全員で取り組むことは、職員のケアの振り返りや見直し等の良い機会になるので、自己評価の作成には全員で意見交換を行いながら取り組み、サービスの質の確保に活かすようにしてほしい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的開催をしており、事業所から利用者状況や行事報告等を行い、参加者から意見や要望を聴くようにしている。介護保険の手続きや窓口等の質問にも応えている。町の担当者は開催日や時間等が合わないために初回のみ参加している。	<input type="checkbox"/>	

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	毎月、状況報告等で窓口を訪問し、意見交換等を行い連携を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族等の来訪時に生活の様子や健康状態の報告をしており、状態に応じて電話で報告をしている。請求書の送付時には一人ひとりに暮らしぶりを一言添えたり、スナップ写真等を同封するようにしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に参加してもらい意見や要望を聴いたり、家族等の来訪時には何でも話しやすい雰囲気作りに留意している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新入職者と利用者との馴染みの関係が築けるように、先輩が基本的な対応の仕方等を指導しながら共に支援にあたり、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	日常的に研修の機会を作り事業所内で行なうようにしているが、外部で開催される研修には参加していない。	○	事業所外での研修にはなるべく多くの職員が受講できるように、また、それらの研修報告は会議等での発表や資料の閲覧により全職員が共有できるようにして、職員の育成をしてほしい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型サービス連絡協議会に加入しており、管理者研修等に参加し情報交換や交流を図っている。地域の事業所から見学等を受け入れ交流を持ち、ケアの質の向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人・家族等に見学をしてもらい、利用者・職員と過ごし、ホームの雰囲気を知ってもらうようにしている。また、自宅や病院、施設等に出向き馴染みになる、施設より利用者と職員が来訪するなど安心して利用に繋がるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	豆の煮方、あんこや饅頭づくり、替え歌、数え歌、裁縫等教わることも多い。共に過ごし支えあう関係作りに留意している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で職員の一方的な決めつけの言葉がけではない工夫を行い、利用者が選べるような対応で、気持ちを推し測るようにしている。また、表情、言葉、行動からも把握する努力をしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族からは日頃のかかわりの中で、思いや意見を聴き、反映させるようにしている。職員間で気づきを記録し、意見交換を行い介護計画に活かしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	随時、状態の変化に応じて見直しは行っている。定期的場合の見直しについては、3ヶ月に1回モニタリングを行い、期間に応じての見直しが行なわれている。	○	安定している利用者の場合も月1回はモニタリングを行い、介護計画の遂行状況等を評価し、本人・家族の要望を確認しながら、職員の情報や気づき、ケアのアイデアを集めて、実情に即した、あるいは変化の兆しに予防的に対応していくための介護計画の見直しが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族等の希望や状況に応じて、通院、送迎、買い物等必要な支援は柔軟に対応している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に説明を行い、協力医の他、利用前のかかりつけ医の医療が受けられるように、希望に応じた支援をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	状態の変化に応じて、家族と関係者等で話し合いを繰り返しながら、随時意志を確認しながら支援に取り組んでいるが、事業所としての指針は作成されていない。	○	重度化や終末期のあり方についての事業所としての指針を関係者と話し合い作成し、関係者が共有されることが望ましい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の誇りを損なわないような対応や尊厳を持った言葉づかい等に配慮しながら、さりげなく支援をしている。記録等の個人情報の取り扱いに関しては、守秘義務の徹底を図るように努めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、一人ひとりの状態やその時の気持ちを大切にしながら柔軟に対応している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の買い物、野菜の皮むき、にぼしの頭を取る、お盆を拭く、お茶を入れる等も利用者と共に行い、職員と利用者が同じテーブルを囲んで食事をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員が一方的に決めず、時間に幅を設けて利用者の希望やタイミングに合わせて支援をしている。状態によってはシャワー浴等でも対応している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物を干す、たたむ、食器やお盆を拭く、雑巾を縫う、草むしり、掃除等、得意分野で一人ひとりの力量が発揮できるようにしている。散歩、花見、ドライブ、小学校の運動会、芸能発表会、武者行列を見に行く等で楽しみごとや気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣の散歩、買い物、庭を歩く、ウッドデッキ(毎日、出ている)等で過ごし、外気に触れる機会を作り、季節を肌で感じてもらうようにしている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、鍵をかけることを常態化せずに、利用者の状態に応じて鍵を開放するようにしている。近所の人にも理解を求め、見守りや声かけで連絡をしてもらう関係を築いている。ウッドデッキにも工夫を凝らし自由にホームから出入りができ、外気に触れ開放感が得られるようになっていく。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力で年1回避難訓練と消火訓練等を利用者と共に行っている。その他、事業所独自で訓練には取り組んでおり、近所の人には協力依頼をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の好みを取り入れて献立を作成するようにしている。食事や水分の摂取状況は毎日チェックを行い記録し、職員が情報を共有している。		
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ウッドデッキから庭木や季節の花が見られる。ホールには木製の椅子とテーブルがあり、トイレや浴室等の入り口に暖簾が掛かっており、ご飯の炊ける匂いや食事作りが見える等、家庭的な居心地の良さがある。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	衣装箱、桐ダンス、鏡台、思い出深い人形、寝具等が持ち込まれており、本人が安心して過ごせる場所となっているように見受けられた。		